

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 2 月 1 日

事業所名 コペルプラスジュニア 堺東 教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			児が集中して療育時間を過ごせるようなつくりをしている
	②	職員の配置数は適切であるか		6		子どもの人数に対しては適切だが、急な休みには対応できないことがある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			訓練室は個室となっており、マジックミラー越しに保護者が見学できる環境である。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			毎朝の朝礼で引継ぎ、毎週カンファレンスを行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			療育後毎回フィードバックを行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			アンケート結果を社内 HP にて公表をして、共有して支援の質を向上していけるように意見交換を行っていく
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6		第三者評価実施なし
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		積極的に情報収集を行い、外部の研修にも参加していく
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			カンファレンスを行う時間を取り、全職員で共有している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			法人で作成したアセスメントプログラムを活用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		6		月に 2 回、ジュニトレクラスを開き、ゲームや製作に取り組んでいる
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			プログラムで飽きのこない 2000 種類以上の教材を用意している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		6		平日、休日、長期休暇での変化はない
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			児のレベルに合わせて集団・個別の療育を提供している

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			メイン・サブ等の役割分担や確認を毎日行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			朝礼を毎朝行い、前日の様子を振り返り・共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			朝礼を毎朝行い、前日の様子を振り返り・共有している
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的なモニタリングを行うことが出来ている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			地域交流の機会を今後検討していく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			会議の前にカンファレンスで情報交換を行い、児発管が参画している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		関係機関連携を行い、情報共有を行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			6	受け入れを行っていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		関係機関連携を行っている 引き続き情報共有や相互理解を図っていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			6	対象が小学3年生までとなっており、非該当
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			6	研修の機会を増やしていけるように検討をしていく
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	地域との交流が出来ないか、検討していく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		6		今後、参加を検討していく

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			困りごとなどは毎療育後のフィードバックの時に共有している
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			月一回で開催し、保護者様同士の交流の場にもなっている
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に行っている
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			悩みや相談に対して、必要な助言を行えるように日々自己研鑽していく。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			保護者会は年に2回開催しており、情報共有の場となっている
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			児発管が対応している。 誰でも適切に対応できる体制を整える。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			ペルクン通信の発行、SNSの投稿を頻回に行っている
	㉗	個人情報に十分注意しているか	6			施錠・シュレッダーをしている
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			マカトンなどにも対応しています
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	今後、地域にも参画していけるように検討していく
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			マニュアルを作成、内容を全体で共有している
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			事業所内で訓練を行っている
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3		研修を年に2回おこなっている
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約時に説明をして、同意書を頂いている

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	5		契約時にアレルギーの有無を確認し、情報共有している
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3		事業所・会社全体で共有している